

# 海学院 星院

# 9年目



## EXPLORING MINNESOTA 2017

Head Coordinators: Tom and Sue Haeg

President of BSM: Dr. Adam Ehrmantraut

Senior High Principal of BSM: Dr. Sue Skinner

Principal of DeLaSalle : James Benson

Principal of Kaisei Gakuin: Toshimitsu Sakai

International Exchange Coordinators:

Hiroshi Yamane, Jack Brodowski

Accompanying Teachers: Ryota Sekiguchi, Yuya Nakasato

Facilitating Company in Japan: ISA

Benilde-St. Margaret's School:

2501 Highway, 100 South St. Louis Park, MN 55416

DeLaSalle High School:

One DeLaSalle Drive, MN 55401-1500

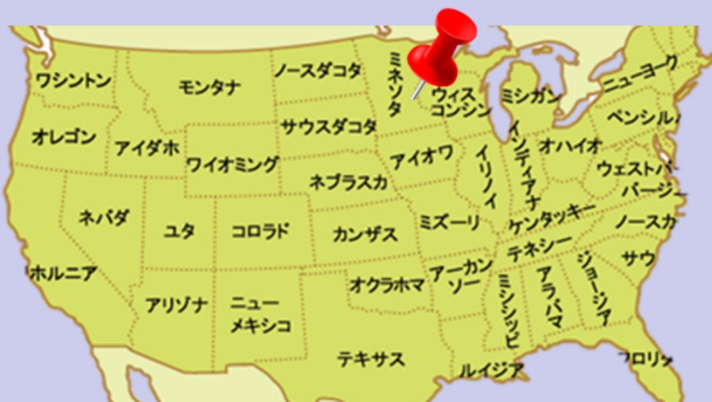
Saint John's Preparatory School:

2280 Watertower Road, Collegeville, MN 56321-4000

Kaisei Gakuin High School:

3-7-7 Takasago-cho Muroran, Hokkaido 050-0072

日数	月/日	都市名	時間	摘要
1	10/4 水	学校集合 学校発 新千歳着 新千歳発 羽田着 羽田発 ミネソタ到着	08:00 08:45 10:00 12:00 13:40 16:20 13:25	学校にて集合完了 搭乗手続き 日本航空 JL0508便にて羽田空港へ 各自羽田空港内で昼食 出国手続き後、 デルタ DL0120便にて空路ミネアポリスへ  ——— 日付変更線越え ——— ミネアポリス到着後バスにてホームステイエリアへ ホームステイエリア到着後、 ホストファミリーと対面します。ホームステイ開始 (未定)
2	10/5 木	ミネソタ	07:30 14:40	姉妹校BSM校集合・オリエンテーション・授業見学など 下校・解散 (未定)
3	10/6 金	ミネソタ	07:30 09:00 12:30 14:00 16:00 17:30 19:00	姉妹校BSM校出発 セントジョーンズ大見学・プレップスクール訪問 セントベネディクトカレッジ訪問 修道院シスター表敬訪問 セントベネディクトカレッジ出発 姉妹校BSM校到着 姉妹校BSM校アメリカンフットボールチーム応援 (未定)
4	10/7 土	ミネソタ	終日 17:30	ホストファミリーとお過ごし下さい アイススケートパーティ(希望者のみ) (未定)
5	10/8 日	ミネソタ	終日	ホストファミリーとお過ごし下さい (未定)
6	10/9 月	ミネソタ	08:50 09:45 12:00 16:30	ミネアポリスダウンタウン散歩 モンテール元アメリカ合衆国副大統領表敬訪問 モールオブアメリカなどで課外活動 解散 (未定)
7	10/10 火	ミネソタ	08:30 11:00 14:00 19:00	スクラブチャージャーガーデン・ミネアポリス大聖堂訪問 デイヤルサール高校交流 BSM校でさよならパーティ準備 さよならパーティ (未定)
8	10/11 水	ミネソタ発	08:00 10:45	ホストファミリーとお別れ、空港へ移動 デルタ DL0121便にて、空路羽田へ (機内泊)
9	10/12 木	羽田着 羽田発 新千歳着 新千歳発 学校着	13:45 16:30 18:00 18:30 20:00	到着後、入国審査 日本航空 JL0523便にて、空路新千歳へ 新千歳空港到着 貸切バスにて学校へ 学校到着後、解散



# EXPLORING MINNESOTA 2017

## WEDNESDAY, OCTOBER 4 (DAY 1)



今年朝の7時30分に学校に集合。生徒がデザインした海星オリジナルのスタジアムジャンパーを着て、羽田空港からミネアポリスへ向かいました。現地コーディネータのトム・ヘイグ氏と奥さんのスーさんが、トムさんオリジナルデザインのポロシャツを生徒に配るのが恒例となりました。



到着後すぐに姉妹校BSM校に向かいました。これから7日間お世話になるホストファミリーが迎えに来てくれました。11時間に及ぶフライトの疲れを見せることなく、笑顔で最初の会話をすることができ、授業の成果を発揮することができました。



現地コーディネーターを務めているトム・ヘイグ氏(Tom Haeg)は、聖ベネディクト修道会設立によるSt. John's Universityの出身です。今から約40年前に、本校での英語教員として採用予定で、直前まで手続きが進んだものの、事情により実現せず、その後、1979年に来日、本校で約一ヶ月ではありましたが英語授業を特別に担当した経験をお持ちです。

その後、ミネソタに戻り裁判官として職に就き2009年で勤めを終えられました。2009年に世界的に蔓延した新型インフルエンザの影響で、7月のアメリカ合衆国カリフォルニア州オンタリオへの修学旅行が延期となり、渡航先の再検討をしていた折に、聖ベネディクト女子修道会におられる本校第2代校長シスター・オリビアからトム・ヘイグ氏を紹介していただきました。本校のアメリカ修学旅行の研修地として、ミネソタ州ミネアポリスでのホームステイプログラムとBenilde-St.Margaret's School(BSM校)を拠点とした研修のコーディネートと、定年後のボランティア活動として引き受けてくださいました。2009年11月に新点地ミネアポリスでの修学旅行を実現し、翌2010年にBSM校と姉妹校提携を結ぶ際にも、トム・ヘイグ氏に尽力いただきました。

ミシシッピ川をはさみ両岸に位置しているミネソタ州ミネアポリスとセントポールはツイン・シティ(双子都市)として人々に親しまれています。「クオリティ・オブ・ライフ」のある街ミネアポリス、最近のフォーブス誌のランキングでも経済的な生活とクオリティのある暮らしのある街として評価されています。歴史の香り高い行政の中心、州都セントポールに対し、清廉な近代的ムードとアメリカの日常の活気が伝わるミネアポリス。それぞれユニークな特色とスタイルを持っています。この街には世界最大規模のミネソタ大学をはじめ、多くの大学があり治安の良い大学都市としても有名です。製材や製粉が主な産業でしたが、現在、ハイテク製品も主要産業として成長しています。ハイクオリティな文化とアメリカの北欧と呼ばれるにふさわしい伝統のフェスティバルやイベント、そして四季の彩りに表情を変えるミシシッピ河と多くの湖に寄りそう豊かな自然に囲まれた街。ダコタ・インディアンの言葉で「ミネ」とは「水」のこと。ミシシッピ河の源流のあるミネソタ州の第一の都市は、川面に映える近代的なスカイラインのシルエットも美しい「水の都」です。そして、なによりも、温かく穏やかなフレンドリーさが世界中から訪れる人々をゆったりと抱擁し、忘れがたい旅の思い出で満たしてくれます。



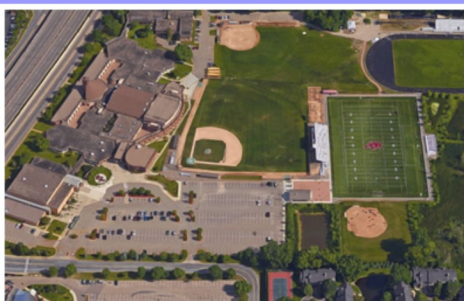
日本とミネソタ州の時差早見表(11/1まで夏時間)

日本	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	0	1	2	3
ミネソタ州	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
夏時間	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13

# EXPLORING MINNESOTA 2017

## THURSDAY, OCTOBER 5 (DAY2)

姉妹校BSM校での授業体験。本校生徒一人につきBSM校の高校生一人がパートナーとなり、一緒に授業を受けました。その後、ミサに参加したり、ランチを食べたりするなどアメリカンスクールライフを楽しみました。落ち着いた校風の中でBSM校の生徒は、慣れない英語で話をする本校の生徒に対して、優しくフレンドリーに接してくれました。一日一緒にいたバディーの生徒は、私たちにとって、初めてのアメリカの友達となりました。



Benilde-St.Margaret's School (BSM) と2009年から交流を開始し2010年6月に調印式を行い、正式に姉妹校関係が成立。2017年度、9年目の交流。  
 高等部(4学年)約1100名・中等部(2学年)約280名。クラス平均人数21名。進学率98%。72%がカトリック。

# EXPLORING MINNESOTA 2017

## FRIDAY, OCTOBER 6 (DAY3)

Saint John's University (SJU) / College of Saint Benedict (CSB)を訪れ、キャンパス内を見学したり、カフェテリアでランチを楽しみました。大学の雰囲気を感じる事ができました。



COLLEGE OF  
Saint Benedict  
  
Saint John's  
UNIVERSITY

※CSBは女子大学(学生数1,950名)、SJUは男子大学(学生数1,850名)。約5マイル離れたところにそれぞれのキャンパスを持っていますが、あたかも一つの大学であるように、どちらの大学の授業でも自由を受けて単位を取得することが可能で、諸活動も共通して行うというユニークな制度を持つ大学共同体です。両校とは2007年から姉妹校となりました。



SJUのキャンパス内にあるSaint John's Preparatory Schoolを訪問。6年生から12年生まで在籍し全校生徒数284名という小さな学校。25%の生徒が留学生で国際色豊かな学校です。

現在、2017年8月から12月まで、本校生徒2年生の中田魁摩君(翔陽中)が、寮生活をしながら高校生と同じカリキュラムで勉強しテストも受け、部活動にも参加しています。日本語でのサポートはまったくない、オールイングリッシュでの24時間。今回は久しぶりのクラスメートとの再会を喜んでいました。



本学を創立したCSBにある修道会を訪問。シスターたちと一緒に2016年2月に天帰された本校第2代校長シスター・オリビア(享年92歳)へのお祈りをしました。シスターから、本校の歴史やカトリックの精神について学びました。



(参考)1961年(昭和36年)4月に、室蘭市の要請を受け、羊の放牧場であった現在の高砂町に、カトリック精神に基づく全人教育を目指して、女子の教育機関として、米国の聖ベネディクト修道院の支援で、「学校法人聖ベネディクト学園・室蘭カトリック女子高等学校」が開校。(1962年・昭和37年に室蘭カトリック女子中学校も開校)1991年(平成3年)4月に、「聖ベネディクト女子高等学校」に校名変更。

本校第2代校長シスター・オリビア(享年92歳)

- ・昭和36年～39年 4年間英語教師として室蘭在住
- ・昭和40年～48年 9年間校長として室蘭在住
- ・昭和45年～49年 5年間理事長・校長兼務として室蘭在住
- ・昭和52年～54年 2年間英語教師として、再度来蘭・室蘭在住
- ※室蘭カトリック女子高等学校での通算勤務期間は16年間勤務

# EXPLORING MINNESOTA 2017

## WEEKEND OCTOBER 7/8 (DAY4/5)

金曜日の夜は、姉妹校BSMの高校アメリカンフットボールのホームゲームがあり、ホストファミリーと応援に来る生徒がいました。寒空の中、ホストファミリーと肩を寄せ合いながらアメリカのスポーツ文化を体験しました。



4日目・5日目の週末は、ホストファミリーとの休日を楽しみました。土曜日の夕方にはスケートパーティーが開催され、各家庭で楽しく過ごしている様子がうかがえました。また、アメリカのライフスタイルを経験する機会になりました。



今年度で9回目のアメリカミネソタ修学旅行。今年度は38人の参加生徒が20件のホストファミリーにお世話になりました。基本的には2人1組でホームステイを行いました。姉妹校BSMにお子さんを通わせているご家庭だけでなく、コーディネータのトム・ヘイグ氏からの推薦によるご家庭にホームステイをさせていただき、充実したアメリカンライフを満喫することができました。多くのホストファミリーが、毎年引き受けて頂いているご家庭で、本校の修学旅行の受け入れを楽しみにしてくださっていました。

# EXPLORING MINNESOTA 2017

## MONDAY OCTOBER 9 (DAY6)

朝は、ミネアポリスのダウンタウンを散歩し、歴史ある大都会を肌で感じながら、極寒地であるミネアポリスならではの主要なビルとビルを結ぶスカイウォークを歩きました。



ミネアポリスから初めて副大統領に選出されたモンデール氏への表敬訪問をしました。カーター大統領時代の副大統領で、駐日大使を務めた経歴もあり、毎年本校生徒に貴重なお話をいただいています。生徒代表スピーチは内池向日葵さん(港北中)が務めました。また、質疑応答ではユニークな質問に気さくに答えていただきました。



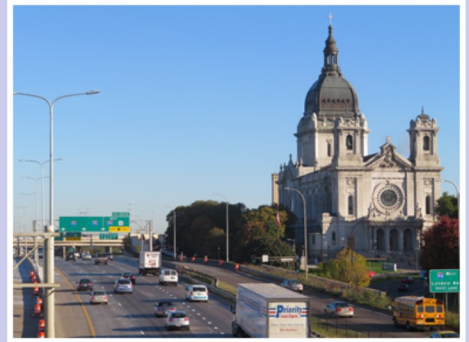
ダウンタウンにあるモンデール氏のオフィスから市電に乗って、遊園地が一体となったアメリカ最大級のショッピングモール、「モール・オブ・アメリカ」に行きました。約520以上のお店がある全米最大の建物の中で買物を満喫しました。



# EXPLORING MINNESOTA 2017

## TUESDAY OCTOBER 10 (DAY7)

ミネアポリスの代表的シンボルがある「Sculpture Garden」の公園を散歩した後、一番大きなカトリック教会「The Basilica of Saint Mary」を訪れました。パイプオルガンでの内池向日葵さん(港北中)の演奏を聴きながら祈りをしました。



ミネアポリスに流れるミシシッピ川の中洲にある私立のカトリック校DeLaSalle High Schoolと交流を行いました。DeLaSalle High Schoolの生徒と本校生徒がお互いに住んでいる地域のことや学校についてのプレゼンテーションを行ないました。その後、一緒にランチを食べたり、校内ツアーをしたりと英語のみで、短い時間ではありましたが、お互い笑顔溢れる交流となりました。



私立のカトリック校DeLaSalle High Schoolは、9年生から12年生までの4学年で760人。アメリカの中では小規模校であるが、2017年度生徒数が過去最高となっている。90%以上が部活動に参加し、特に男女バスケットボール部が有名。クラスサイズは15人から29人。98%大学進学。1900年創立の伝統校。制服を着用。現在、台湾・中国・ベトナムなどからの留学生を受け入れているが、日本人留学生は在籍していない。

# EXPLORING MINNESOTA 2017

## TUESDAY OCTOBER 10 (DAY7)

さよならパーティーの前には、BSM校でホストファミリーと最後の食事をとりながら、これまでの思い出を語り合いました。



毎年恒例のさよならパーティーでは、古川宥希くん(星蘭中)の国歌斉唱の後、安藤友駿くん(桜蘭中)と橋本真実さん(啓明中)による見事な英語による司会で、スムーズな進行を行うことができました。修学旅行現地コーディネータのHaeg夫妻やBSM校の校長Sue Skinner氏と入試担当のTed Freese氏にも参加して頂き、工藤夕佳さん(星蘭中)と大須賀舞さん(伊達中)がそれぞれ感謝の手紙を読み上げました。その後、プレゼンテーションチームがパワーポイントを使いながら、海星や室蘭について英語でわかりやすくホストファミリーに説明をしました。恒例の修学旅行オリジナルTシャツは、阿部亜希穂さん(白老中)と小林志宝さん(東明中)の二人がデザインをしました。「天涯比隣」という四字熟語が書かれ、ホストファミリーに感謝の気持ちを込めてプレゼントしました。生徒4名が、日本語と英語で福山雅治さんの「家族になろうよ」を熱唱し、会場は感動に包まれました。最後に感謝の気持ちを森田彩七さん(港北中)がホストファミリーへの手紙を読み上げた後、全員で「旅立ちの日に」を合唱しました。生徒たちがぼろぼろと頬に涙し、その姿にホストファミリーも言葉の壁を越えて涙を流す姿が、わずかの日数で築き上げたホストファミリーとの信頼関係の尊さを物語っていました。



DAY8 10/11 出国  
DAY9 10/12 帰国